

平成29年度 一般会計の主な事業

※1万円未満の額は四捨五入

総務費

一般事務や防災などに係る経費です。

- 市民協働推進事業…131万円
- 匠瑤市版生涯活躍のまち形成事業…412万円
- 津波避難タワー設置事業…6292万円

民生費

児童や高齢者、障がい者福祉などに係る経費です。

- 保育所施設整備事業…2億8186万円
- 施設型給付事業…7億1632万円

衛生費

市民の健康づくりやごみ処理などに係る経費です。

- がん検診事業…5772万円

農林水産業費

農林水産業の振興に係る経費です。

- 水田農業構造改革対策事業…4966万円

商工費

商工観光の振興に係る経費です。

- 商工業活性化支援事業…1363万円
- 空き店舗活用支援事業…441万円

土木費

道路や公園などの整備や管理に係る経費です。

- 市道11137号線(野手)道路改良事業…7926万円
- 都市公園維持管理費…7398万円

消防費

常備消防や消防団に係る経費です。

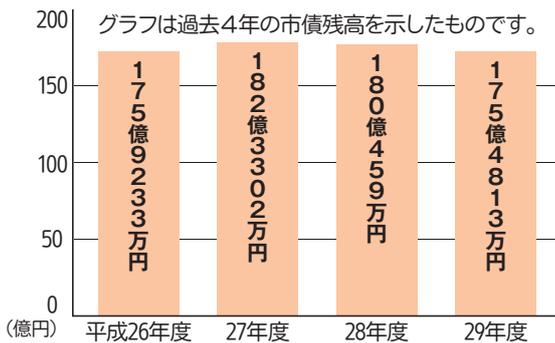
- 消防施設整備事業…4844万円

教育費

小・中学校の運営など教育行政に係る経費です。

- 生涯学習センター改修事業…1803万円
- ドーム改修事業…8770万円
- 施設維持管理費(図書館)…1億5303万円

■図 市債残高の推移



■表2 市債残高と市の実質負担額

	市債残高	交付税算入率	市の実質負担率
一般会計			
臨時財政対策債	71億379万円	100.0%	0%
合併特例債	51億2735万円	70.0%	30.0%
その他市債	44億8709万円	43.4%	56.6%
小計	167億1823万円	75.6%	24.4%
特別会計			
病院事業債	8億2990万円	6.5%	93.5%
合計	175億4813万円	72.3%	27.7%

※合計などは四捨五入の関係で一致しないことがあります。

■表3 健全化判断比率

	匠瑤市の値	「早期健全化」 となる基準値	「財政再生」 となる基準値	全国の市区平均 (※)
実質赤字比率	赤字なし	13.39%	20.00%	—
連結実質赤字比率	赤字なし	18.39%	30.00%	—
実質公債費比率	5.6% (28年度から0.4ポイント増)	25.0%	35.0%	5.4%
将来負担比率	27.5% (28年度から2.5ポイント減)	350.0%	—	13.7%

※総務省ホームページ「平成29年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率の概要(速報)」から抜粋

じて国からの補てんがあるため、市の実質的負担率は残高全体の3割程度となります。||表2

健全化判断比率・資金不足比率

健全化判断比率と資金不足比率は、自治体の財政状況を判断するための指標です。

ともに基準値を下回る

健全化判断比率には、「健全化判断比率」と資金不足比率は、自治体の財政状況を判断するための指標です。

■表4 資金不足比率

	病院事業会計の値	「経営健全化」 となる基準値
資金不足比率	資金不足なし	20.0%

■用語の解説

実質赤字比率	財政規模に対する一般会計の赤字割合を示す指標
連結実質赤字比率	財政規模に対する全ての会計の赤字割合を示す指標
実質公債費比率	財政規模に対する借入金返済額の割合を示す指標
将来負担比率	財政規模に対する負債の割合を示す指標
資金不足比率	公営企業の事業規模に対する資金不足の割合を示す指標

問 財政課 財政班 ☎73・0085

29年度決算における市の健全化判断比率と資金不足比率の数値は、両比率とも基準値を下回り、健全段階にあると言えます。

また、資金不足比率では、経営健全化基準を上回った場合には、経営の立て直しを図ることとなります。

29年度決算における市の健全化判断比率と資金不足比率の数値は、両比率とも基準値を下回り、健全段階にあると言えます。

また、資金不足比率では、経営健全化基準を上回った場合には、経営の立て直しを図ることとなります。

「早期健全化段階」「財政再生段階」の3区分があります。早期健全化、財政再生の各段階の基準を超えた場合には、段階に応じた財政の立て直しを図ることとなります。

病院事業会計の決算概要を公表

一般会計から6億2708万円の補助

病院事業会計の平成29年度決算が、他の特別会計と併せて市議会9月定例会で認定されました。病院事業と介護老人保健施設事業を合わせた全体の事業収支は、1億7171万円の赤字でした。

患者数などの状況

病院事業では、入院患者数が約2万2000人、外来患者数が約7万3000人で、28年度と比較すると、入院患者数は0・2%、外来患者数は4・5%減少しました。 Ⅱ

図1

図1 市民病院の患者数の推移

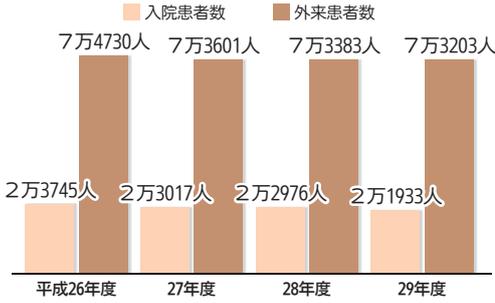
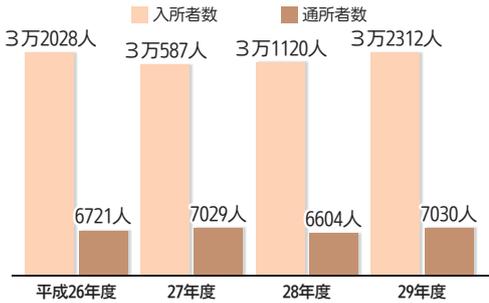


図2 めくもりの郷の利用者数の推移



数が約7000人、28年度と比較すると、入所者数は3・8%、通所者数は6・5%増加しました。 Ⅱ

収支の状況

収益的収支

収益的収支は、病院事業と介護老人保健施設事業の経営活動によって生じた収益と、それに要した費用です。収益は、25億5198万円

（28年度との比較で2066万円減少、0・8%減）、費用は27億2369万円（同205万円増加、0・1%増）となりました。そのため収支は、1億7171万円の赤字となり、28年度より約2000万円悪化しました。

資本的収支

資本的収支は、医療機器の購入や施設整備などへの支出と、その財源となる出資金や企業債です。

29年度は、乳房エックス線撮影装置（マンモグラフィ装置）や電子内視鏡システムなどを更新しました。また、病院所有地（若潮町）の売却があったため、収支は427万円の黒字となりました。

なお、一般会計からの繰入金を除いた収支は1億339

表1 収益的収支

	収益	費用	収支	一般会計からの繰入金を控除した収支	一般会計からの繰入金
病院事業	19億6835万円	21億1370万円	▲1億4535万円	▲6億781万円	4億6246万円
介護老人保健施設事業	5億8363万円	6億999万円	▲2636万円	▲5273万円	2637万円
合計	25億5198万円	27億2369万円	▲1億7171万円	▲6億6054万円	4億8883万円

表2 資本的収支

	収入	支出	収支	一般会計からの繰入金を控除した収支	一般会計からの繰入金
病院事業	1億2422万円	1億1334万円	1088万円	▲7496万円	8584万円
介護老人保健施設事業	5241万円	5902万円	▲661万円	▲5902万円	5241万円
合計	1億7663万円	1億7236万円	427万円	▲1億3398万円	1億3825万円

8万円の赤字です。 Ⅱ

一般会計の繰入金

病院会計では、病院事業を運営する経費に充てるために

一般会計から補助（繰入金）を受けています。29年度は総額6億2708万円の補助を受けました。

このうち、法令などの国の基準に基づくもの（基準内補助）の一部は国からの補てん措置があります。基準内補助額の4億4869万円のうち2億6264万円が地方交付税として国から補てんされました。

また、国の基準に基づかない補助（基準外補助）は1億7839万円で、これは、病院の経営改善や、市が推進する在宅医療（訪問看護ステーションの運営経費など）に対する補助が主なものです。

市民病院事務局

☎72・1525



昨年10月に更新したマンモグラフィ装置